

1 意見募集の概要

- (1)実施期間 2026年1月1日（木）～1月31日（土）
 (2)提出された意見の件数 3名の方から5件のご意見をいただきました。

2 提出された意見及びそれに対する市の考え方

頂いたご意見は、趣旨を損なわないように要約しています。

No.	意見の概要	市の考え方
1	生物多様性についての定量的な目標値を示し、それを目標値として活動を管理する必要があると考えます。指標の提示自体が試み、トライと断言しても問題ないと思います。指標に対応した数値を出すための観測や集計作業が予算的に難しい場合、市民ボランティアも募集してよいのではないのでしょうか、明石市において、生物多様性を指標で管理することができれば、他市町村に対しても明石の先駆的取り組みとして誇ることができると思われます。ぜひトライして欲しいと期待する次第です。	生物多様性の定量的な目標設定および指標による管理は非常に意義深いものですが、自然環境の評価指標につきましては、種の豊富さ、種の多様性指数、固有種の増加などがありますが短期間での変化が見えにくく具体の自然環境がどこまで回復したのかを数値化することは難しい状況であります。 また、市民ボランティアの活用においても観察精度やデータの信頼性に課題があるため、慎重な対応が求められます。 そこで、24の目標（戦略P53,54）を定め、進捗管理を行いたいと考えております。
2	生物多様性を保全・維持するための活動は示されていますが、ネイチャーポジティブ、すなわち生物多様性を向上させるための方法論や活動内容については具体的に記載されていないと思われます。生物多様性を向上させるための取り組み内容やその場合の目標値などを記載する必要があるのではないのでしょうか。	国のめざす「30by30目標」に貢献するため、自然共生サイトの認定を目指すこと、ビオトープを活用した希少種の生息域外保全の取り組みがネイチャーポジティブを目指すことのひとつであると考えおります。
3	海洋ごみの問題も生態系に大きな影響を与えていることがあると思われます。海洋ごみについて、コラム等で記載してはどうでしょう。	海洋ごみについてのコラムを追加します。
4	ミッション5に関して、P34では「種の現況を把握します」とあり、P50では「生物種の現況を把握します」となっています。統一した方がいいかと思われます。	「種の現況を把握します」とします。
5	ミッション2に関して、何を保全・向上させていく仕組みなのか、ちょっと説明不足な印象。保全・向上させていく対象（生態系、自然環境、生物多様性）を文章のアタマに入れられないのでしょうか。	ミッション2の上位に「ゴール1健全な生態系を保全する」とありますので、健全な生態系を保全していくものです。 わかりやすくするために「健全な生態系をより積極的に保全する仕組みを作ります」と記載します。